

**言語資源研究系**  
**領域指定型共同研究プロジェクト**

**文末音調と発話意図とを統合した  
話し言葉のアノテーションの可能性**

**リーダー：九州共立大学講師 岡田 祥平**

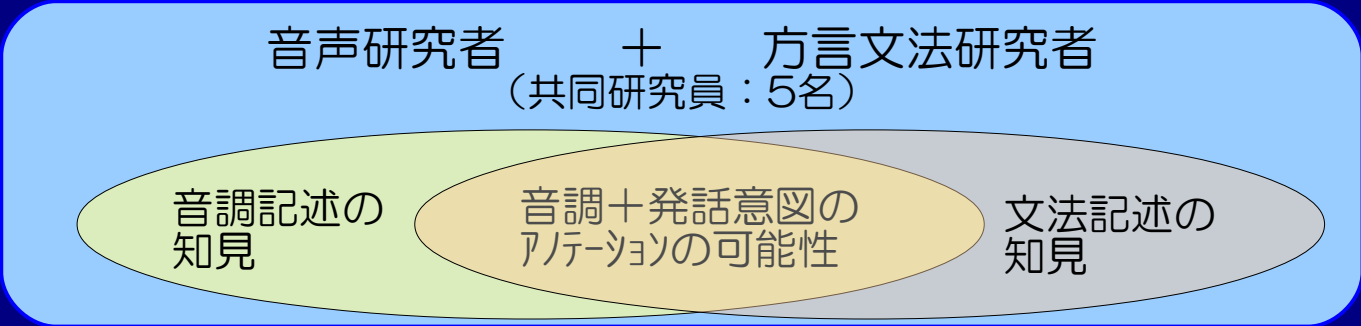
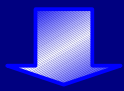
話し手が持っている想定や断定について、聞き手に同意を求める質問文

日本語諸方言における**同意要求文**  
 ⇒通常の質問文には現れない「特有」の音調が観察される方言（含む東京方言）が存在するという報告

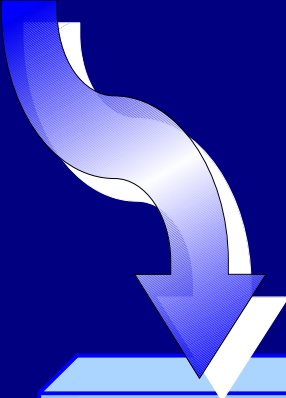


従来の音調のアノテーションの手法では、このような現象の記述は不可能

そもそも、当該音調の実態の記述が不十分な側面もある



国内数地点で同意要求文を中心に音調実現の実態調査を実施



調査対象地点 (予定)

- ①首都圏  
同意要求文: アクセント核が消失する音調  
その他の文: アクセント核は消失しない
- ②愛媛県宇和島  
同意要求文の文末: 上昇下降調  
その他の質問文の文末: 下降調

**音調のアノテーションについて、新知見を提供**